

認定調査とつきクン通信（第4号）

2-5・6 （特記内容）

リハビリパンツを履いていて、ときどき失禁する時がある。リハビリパンツの後片づけは娘が行っている。

一部介助

あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見たいです。

確認事項（専門調査員からの確認内容）

時々失禁とありますが、頻度はどの程度ですか。また、普段は自分でトイレに行っているのですか。また、便も同じように失禁があるのですか。

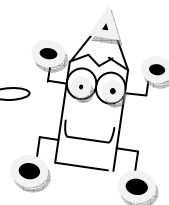
回答（調査員から）

月数度です。

変更なし

排泄は、個々に状況や介助の方法が違います、具体的に確認が必要となります。
ほんの一例です

注意点



○一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回に見られる状況や日頃の状況で選択する。その場合、その日頃の状況等について、具体的な内容を「特記事項」に記載する。

記載例

リハビリパンツを使用しているが、排泄はトイレで自分で行う。月に数度失禁がある時は、リハビリパンツの後片づけは娘が行っている。頻度より「自立」を選択する。

自立

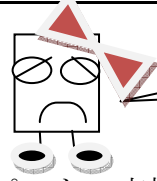
●今回排便についての状況確認は、調査員からの回答がありませんでした。通常、排尿・排便の回数や介助の頻度は異なることが多いと考えられます。特記は別々に内容を記載していただくことが、望ましいです。

認定調査とつきクン通信 (H24第5号)

2-5・6排泄

ケシコちゃんの特記

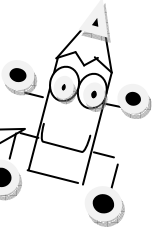
- パットを使用している。パットの交換や清拭に介助が必要
選択肢*一部介助*



毎回、問い合わせをもらっちゃう、頑張っているのに……この内容で何がいけないのかなあ？

これじゃ、だめ！

まず、介助が必要の表現は、実際に介助されているのか、されていないから介助が必要と判断したのかわからないよ。もう一度ポイントを確認して書き直してごらん。



ポイント

* 概ね過去1週間の状況で、より頻回に見られる状況や日頃の状況で選択する。ここでの

排尿（便）とは1・排尿動作【ズボンの上げ下げ】

2・陰部の清拭

3・トイレの水洗、ポータブルトイレの始末、排尿（便）直後の掃除

4・オムツ、リハビリパンツの交換等（※カテーテル、ストマの処置等）

ケシコちゃんを書きなおした特記

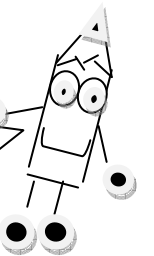
- パットを使用している。自分でトイレに行くがリウマチがあるので、パットの交換や清拭が自分でできず毎回家族が介助している。ズボンの上げ下げは何か自分で行っている。



上のポイントに書かれている行為の一部でも自分でできれば「一部介助」になるんだね。誰が何をどのように介助しているのか、ひとつひとつの動作を聞かないとだめなんだね。

選択肢*2-5,6共に *一部介助*

そうだよ。また、排尿と排便一緒に書いている人がいるけど尿と便は違う動作をする場合があるので別々に聞き取ってね。失禁の場合はその頻度も書くように、暑い中大変だけど頼んだよ！



※OCRの右上 51 の周りは汚さないようお願い致します。読取ができません





介護保険課認定係

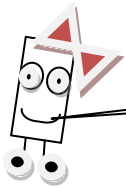
平成25年9月1日

認定調査とつきクン通信 (H25第6号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

2-5 排尿 ・ **2-6** 排便

聞き取り方



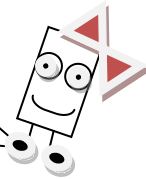
1 トイレはご自分で行かれていますか。
2 それとも誰かに手伝ってもらいますか。

聞き取った内容

⇒ 自分でトイレに行き排泄している。
介助は受けていない。

この場合、追加で聞き取り

本人又は介護者に対して
ズボンの上げ下げ・清拭・流すこと
全て自分で行っていますか。



⇒ 通常は、ズボンの上げ下げ・拭く・
水を流すことはできていると思うが、
間に合わないことがあり廊下を汚す。
パットだけでも使ってもらえるとよ
いが、本人は嫌がっている。汚れた下
着は自分で洗っている。

⇒ 掃除は週3回ほどです。



ここ1週間での掃除回数を
教えてください。

確認した状況から特記

・通常は介助は行われていないが、週3回ほどの頻度でトイレに間に合わず失禁し、廊下が濡れており、廊下の掃除は家族が行っている。パットは本人が好まず使用していない。下着は自分で洗っている。

{ 廊下の掃除をする等の介護の手間は発生しているが、
一週間の頻度では、自分で行っている頻度の方が多い。 }

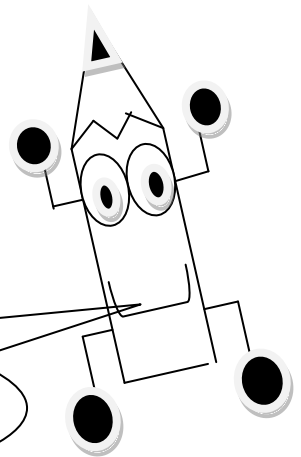
ない」

選択肢※「介助されてい

必ず確認して欲しい内容

- ・排泄の方法 (トイレ/オムツ/ポータブル)
- ・介助の方法が異なる時は頻度を確認
- ・失禁の頻度

排尿は実際の介護において「個人差」があり、
また一日の中で「何度も発生する介助」だね
排泄はデリケートな部分です。聞き取り方にも注意してね。





平成28年7月1日

認定調査とつきクン通信（H28第4号）

（H28年度は皆さんが書いた特記から「あいまいな表現」について考えます）

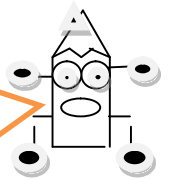
2 - 5 排尿

皆さんが書いた特記

リハビリパンツを使用し自力でトイレに行くも、間に合わずリハビリパンツに失禁してしまう。
リハビリパンツの交換は家族が行っている。

選択肢 「一部介助」

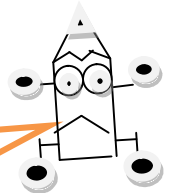
この特記から、一部介助と判断できるかどうか考えてみてね。失禁の頻度が分からないし、間に合わない理由は何かなー。トイレまでの移動？ズボンの上げ下げ等の動作？その内容の特記が必要だよ。



確認したよ、トイレまでの移動に時間がかかり、一日に1回は、失禁するって家族が言っていたけど、それ以外は自分でやっているって。



排泄は一日に何度も発生するし、介助には個人差があるよね。定義にある一連の行為の全てを聞き取らないと判断できないよ。



どこが《あいまい》だったのか

リハビリパンツの交換についてしか記載がないため・・・他の選択肢も考えられる。

問い合わせた結果以下の特記に修正されました

リハビリパンツを使用し、一日7～8回自力でトイレに行くも、歩行不安定で移動に時間がかかり間に合わず失禁してしまう事が一日に1回はある。失禁時は家族がリハビリパンツの交換を行う。失禁時以外の排尿の一連の動作は自分でやっている。頻回な状況から「介助されていない」と判断した。

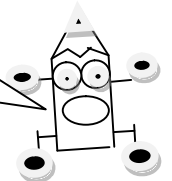
選択肢 「介助されていない」

聞き取りが足りなかったわ。



確認です。特記を書くには「排泄にかかる介護の手間」を確認しないとイケないね。

・排泄方法（トイレ・ポータブルトイレ・オムツ等）・頻度・失敗の有無と介護
また、昼夜の違いや、失敗は失禁だけではなく、トイレの汚染等も確認が必要。





認定調査とつきクン通信（H29第2号）

（H29年度は、認定調査員 e-ラーニングの問題から一緒に学びましょう）

質問 2-5 排尿（基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。）

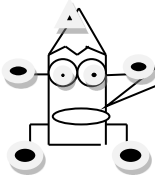
トイレへの移動、トイレ内での行為には、見守りも介助も行われていないものの、認知症のためトイレに行くタイミングを自分で把握できないことがあるため、定時の声かけを行っている。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

1. 介助されていない。
2. 見守り等
3. 一部介助
4. 全介助

タイミングをみて声かけを行っているのよね。でもトイレ内の一連の行為は「自立」しているから、「1. 介助されていない」だと思うけど。



ちょっと迷う所かも知れないね。
答えは「2. 見守り」が正解だよ。
評価軸は「介助の方法」だね。



えー！「見守り」になるの？



e-ラーニング【解説】排尿の選択基準

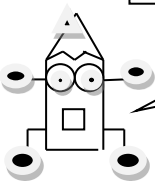
「見守り等」とは常時付き添いの必要のある「見守り」「確認」「指示」「声かけ」や認知症高齢者等をトイレ等に誘導するために必要な「確認」「指示」「声かけ」等の事です。

トイレでの一連の行為が「自立」であっても、認知症の方をトイレに誘導するために声かけする場合は「見守り等」になるんだね。その他にも以下の内容等細かく聞く必要があるよね。

- ・一般的な下着なのか。紙パンツ、又はパットを使用しているのかどうか。
- ・失禁した時は誰が交換しているのか。
- ・昼と夜の状況の違いはどうか。例えば日中は自分でトイレに行っているが、夜はオムツを使用している等人それぞれ状況が違うよね。その状況や頻度を記入し選択肢を判断するんだよ。

そうね。デリケートな内容なので、聞き方にも注意しなくてはね。そして頻度や状況をきちんと聞き取るようにするわ。

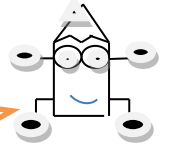
e-ラーニングも頑張ります。





認定調査とつきクン通信（H30第4号）

（H30年度は、「介護の手間の量」を把握できる特記について発行いたします）



今年度は、認定審査会委員の
立場で特記を考えてみるよ。

ケシ子ちゃんの調査

2-5 排尿「介助されていない」



特記①排尿の一連の行為は自分で行うことができる。尿意はあるが、間に合わない事が時々ある。

排尿って一日に何回もあるよね。この内容だと一日の排泄の回数や間に合わない時の状況・頻度が、分からないんだけど……。もちろん確認したよね。



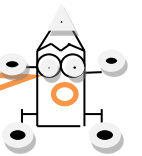
聞いたけど、特に介助されていないから、いいかなって思っちゃたんだけど……。介助されてなくても、書いた方がいいのね。では、聞いたことも含めて書き直します。



「介助されていない」

特記②排尿の一連の行為は自分で行うことができる。日中は5～6回、夜間は3回程度排尿あり。尿意はあるが歩行不安定で、トイレまで間に合わない事があり週2～3回失禁する。失禁時の下着やズボンの交換は自分で行えるが妻が声かけをしないと交換しない。頻回な状況より「介助されていない」と判断した。

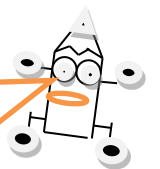
大切なことがたくさん書かれている特記になりましたね。排泄は、色々な状況があるでしょ。聞いてないと書けないし、聞いても書いていないと「介護の手間」を審査会で議論できないよね。



ハイ。まだ、他に気を付けることある？



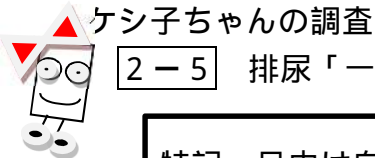
あるよ。排泄は個人差があるよね。「何度も発生する介助」で介護の手間が審査会で議論されることも多い項目なんだ。排泄方法（トイレ・ポータブルトイレ・オムツ等）排泄回数・失禁の有無と介護・昼夜の違い等、調査時に丁寧に聞き取りしないと、判断できないよね。





認定調査とつきクン通信（R1第9号）

（R1年度は、「選択肢の選択根拠」がきちんと書かれている特記について発行いたします）



ケシ子ちゃんの調査

2-5 排尿「一部介助」

特記 日中は自室にあるトイレに行く。夜間のみテープ式オムツを使用し、職員がオムツ交換を行っている。

昼間は自分でトイレに行ける方なんだね。夜間のみ、オムツ交換が必要な理由は何かな？

施設に入所中で排尿の一連の行為は自立しているけれど、トイレまではゆっくり杖歩行しているの。「夜は室内が暗くて転倒の危険があるから、オムツにしている」と職員が話していたわ。

日中は自立しているが、夜間はオムツが必要。この場合、どの選択肢を選べば良いのか、テキストをよ～く読んでごらん。

そうね。テキストの82ページを参照し、もう一度よく考えて書いてみます！

「自立」

特記 日中は自室にあるトイレに杖をついて一人で行き、排尿の一連の行為は自立。リハビリパンツを使用し、失禁もない。夜間は転倒の危険があるため、テープ式オムツを使用、職員が定時でオムツ交換を行っている。日中は5～6回、夜間は1～2回排尿あり。より頻回な状況より「自立」と判断した。

時間帯や体調等によって介助の方法が異なる場合は、より頻回な状況や日頃の状況で選択する。このケースの場合は日中と夜間の排尿回数の違いが選択肢の判断基準になっているね。排尿回数だけでなく、失禁の頻度や介助の手間の違いも判断材料になるよ。選択の根拠がよくわかるように特記事項を記入してくださいね。

